

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2015年
4月8日(水)
第128号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

【公的保育・福祉を守る東京実行委員会ニュースより転載】

待機児童解消、保育の質向上

10万2531筆の都民の声を不採択に

公的保育・福祉を守る東京実行委員会が昨年の秋からとりくんできた、都議会宛署名「東京の待機児童の解消と保育の質の向上を求める請願」が3月19日(木)の厚生委員会で審議されました。

ここ数年、署名数が10万を超えられずにいましたが、今年は、**10万2531筆**(認められた署名数は、**9万9430筆**)となりました。これもとりくんでくださったみなさんの努力のおかげです。ありがとうございました。20日に採決があり、自民党、公明党、民主党、かがやけの不採択賛成多数で不採択となりました。19日の委員会では、署名についての質疑を日本共産党の大山都議がしました。東京都福祉保健局との主なやり取りは以下です。

○認可保育所の職員配置基準の改善について

大山：国は新制度で3歳児を20：1を15：1として人をつけるとしている。画期的なこと。都もなって人員配置を同じにしたらどうか。

都：するつもりはない。

大山：都がするとしたら補助金はいくらかかるのか。

都：100名定員3歳児19名とすると年間171万円くらいとなる。

大山：そのくらいしかない財源では、非常勤も雇えない。

○新たな保育園設置には園庭の確保をについて

大山：待機児童解消として園庭がない保育園がたくさんできている。そのため公園がいっぱいで遊べない状況になっていることを都は知っていますか？子供の成長や発達には外遊びは必要なこと。園庭がないことでの弊害が出ている。公有地の活用はいいが、子どもの発達保障ができるようにしてもらいたい。園庭が必要だと思いませんか？

福祉保健局長：特別予算委員会でも申し上げましたが、私にも子どもがいて、休日には公園に連れて行っている。園庭がある、ないことだけで子どもの成長阻害として取り上げるのはいかなものか。

大山：「世界一の福祉都市にする」と言っているながら園庭のない保育は、世界から見ても稀な状況です。改善してください。

○キャリアアップ補助について

大山：今回、都サービス推進費が再構築され、キャリアアップ補助と保育サービス推進事業のふたつになった。来年度のキャリアアップ補助と現在のサービス推進費補助の基本部分の東京都が示した数字でわが党が一人頭の額を試算してみると月額3550円しかない。これではキャリアアップもできなのではないですか？

都：国の公定価格の処遇改善費加算の要件と同様に考えた。キャリアに見合った処遇改善ができるようにしたもの。

大山：今回のキャリアアップ補助は、株式会社が設置する認可保育所、認証保育所にも補助を出すことにしました。これらの施設で働く人に確実に賃金アップにつながるか、心配です。

※ 残念ながら不採択となりました。しかし、大山都議の質問で東京都は、長期ビジョンで、「世界の福祉都市を目指す」としているにもかかわらず、「子どもの最善の利益」より園庭がなくても、ひとりのスペースが狭くても“保育所に入れれば良いでしょう”という認識のようです。

子どもが健やかに成長や発達をすることが保護者や保育士にとって大きな願いです。“預けられれば何でもいい”わけではなく、行政がこれでは保育事故は減りません。私たちの主張が世界的にも当たり前ということを確認に引き続き運動していきましょう！！

○キャリアアップ補助と保育サービス推進事業

東京都は昨年12月上旬に東京都社会福祉協議会に社会福祉法人の保育園に出していたサービス推進費補助を廃止し、新たな補助制度とすることを提案。ひとつは介護保険のキャリアパスの仕組みを導入を条件に処遇改善にかかる費用の一部を補助する。もう一方は、サービス推進費の子育て支援補助項目を半分廃止。頑張ってとりくんだ所ほど減額が大きい。2015年4/1実施

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】